

COP21の結果を受けて 環境問題を考える

**入場
無料**

開催日時

2016年
3月9日(水)
15:00~17:30

開催場所

**アクロス福岡
4階 国際会議場**

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号



プログラム

◆開会 / 会長挨拶

◆基調講演

「COP21終えて、これから…」
中央環境審議会 会長
福岡大学 名誉教授 浅野 直人 氏

◆パネルディスカッション

コーディネーター 浅野 直人 氏
パネリスト3名

- ◆一般代表：NPO法人 循環生活研究所 理事長 平 由以子 様
- ◆学生代表：九州大学理学部地球惑星科学科 4年 中村 有希 様
- ◆行政代表：九州グリーン購入ネットワーク 事務局長 永津 龍一 様

◆閉会

浅野 直人 氏

プロフィール

昭和41年3月九州大学法学部卒。
同大学院助手を経て昭和47年福岡大学法学部
専任講師(民法)。昭和55年同教授、昭和62年
から同大学法学部研究科教授を併任、平成26年
4月より同名教授(現職)。平成9年~平成13年
学校法人福岡大学理事、法学部長。平成27年2月
に中央環境審議会会長に就任。この他、福岡県
環境審議会会長等を歴任。平成8年に環境保全
功労者として環境庁長官・大臣表彰を受賞。

COP21とは~正式名称『気候変動枠組条約第21回締約国会議』で、COPとは『Conference of the Parties』の略。昨年パリで開催されたCOP21の動向は世界で注目されました。1997年京都で開催したCOP3では、先進国に対して温室効果ガス削減を義務付ける、画期的な「京都議定書」が生まれました。しかし当時最大のCO2排出国だったアメリカは議定書から離脱を表明、更に中国など新興国のCO2排出量も急増しました。結果、議定書に合意した一部先進国だけの排出削減義務では、その効果は極めて限定的なものとなってしまいます。その後の会議では、先進国側と新興国・途上国側との主張が鋭く対立し、溝が深まることに。新たな枠組みを決めるはずの2009年コペンハーゲン開催のCOP15「ポスト京都議定書」では合意に失敗してしまいます。そして、まさにラストチャンスともいえる今回のCOP21。2020年以降のCO2削減に向けて、アメリカ・中国・インド等、すべての国が参加した温暖化対策の枠組みを作ることが会議の焦点となりました。

福岡国際ミズの会とは

男女共同参画社会の実現や、国際社会に貢献できる人材育成を目指す活動を行っている国連広報局のNGOに加盟する団体です。毎年、新たな人材育成の一環として、国連NGO年次総会へ公募により選考した学生を派遣するとともに、国際年のテーマにちなんだシンポジウムを開催し、著名な方から講演をいただいています。ご興味のある方は下記にお問い合わせのうえ是非ご参加ください。



公益社団法人
福岡国際ミズの会
会長 稗田 慶子
(元福岡県副知事)

お申し込み・お問い合わせ先

公益社団法人 福岡国際ミズの会(学校法人中村学園法人本部内)

TEL(092)851-5848 / FAX(092)841-7762 / E-mail:soumubu@nakamura-u.ac.jp

◆お申し込み

電話・FAX・E-mailのいずれかにて、
お名前、ご所属名、ご連絡先をご記入のうえ、
3月2日(水)までにお申し込みください

氏名:

所属:
[団体名等]

電話:
番号